

KIFA 河内長野市国際交流協会 Report

92

Jan. 2015



写真はモンブラン

新年のごあいさつ

- 日本・スイス国交樹立 150 周年記念
「スイスな 1 日」
～奥河内、こんなところにスイス人！～
- 日本語ボランティア ブラッシュアップ講座
- 語学クラブ発表会
- 中国の家庭料理
- 英国のクリスマス家庭料理
- コンニチハ！ 日本語サロンです
- 姉妹都市子ども絵画展





2014年4月に河内長野市とカーメル市の姉妹都市提携20周年の記念式典がありました。その時1994年に山本定男氏(当時のKIFA会長)が書かれた手紙に思いをはせる機会がありました。私たちが姉妹都市提携の覚書に調印しカーメルに帰ったすぐ後に手紙は届きました。「皆さんを歓迎するかのように満開だった桜が今は散り、皆さんのお帰りを嘆いているようです。そして新しい芽がすでに芽吹こうとしていて、新しい希望を象徴しているかのようです。」山本氏がおっしゃっていた新しい希望を胸に、2015年にさらなる善意と友情が2つの国、2つの市の間に育って行きますように願っています。

カーメル姉妹都市委員会 会長 バーバラ・モジャー

明
おけまして
ごめどう
ます



姉妹都市提携20周年の記念式典に出席するため、7年ぶりにアメリカ・インディアナ州カーメル市を訪れました。3年前「全米で住みやすい街ナンバーワン」に選ばれた街は次々と新しい家が建ち、他の都市から移転してきた企業のビルも増え、落ち着きのある中にも、活気に溢れていました。そのカーメルの姉妹都市委員会のメンバーの方々は滞在中本当に心を込めて対応していただき、そして極めて多忙なはずの市長も多くの時間を割いていただき

ました。長い間に熟成された本物の「友情」を強く感じました。新しい年を迎え、KIFAは国際交流から多文化共生に軸足を移していくと共に、古くからの友人との関係も更に深めていきたいと考えております。

今年も会員の皆さまのご支援よろしくお願い致します！

河内長野市国際交流協会 会長 山本 明彦

2015

日本・スイス国交樹立150周年記念 スイスな1日

登山家 福島博憲さんと語ろう！

～マッターホルン北壁単独登攀者から学ぶ山登りのノウハウ～

150



Anniversary of Diplomatic Relations
between Switzerland and Japan
日本・スイス国交樹立記念



11月9日 市民交流センター(キックス) 中会議室

河内長野市にマッターホルン北壁を単独で登攀された方がいらっしゃったのには驚きました。2013年5月の三浦雄一郎氏による80歳でのエベレスト登頂が話題に上ったのは記憶に新しく、また、山国日本で登山への関心が高い方も多いのでし



福島さん

ょう、講演会場は満席となりました。アルパイトで渡航費・滞在費を貯めた話、マッターホルンに登り始めてすぐにザイルを岩と氷の間に落としてしまった話、登攀途中で夜になりロープで体をつってビバークした話、他の登山者が引き起こした落石で自分のザイルが切れかかり危うかった話など、実体験に基づいた内容が臨場感をもって語られました。マッターホルンの写真で実際のルートなどを示しながらの体験談は、まるで自分がそこにいるかのような気分にさせてくれました。福島さんが

う、講演会場は満席となりました。

アルパイトで渡航費・滞在費を貯めた話、マッターホルンに登り始めてすぐにザイルを岩と氷の間に落としてしまった話、登攀途中で夜になりロープで体をつってビバークした話、他の登山者が引き起こした落

マッターホルン北壁登攀に成功したのは、1969年7月29日、午前8時30分。「麓のツェルマットに降りてくると皆が迎えて祝福してくれ、とても感激したことを今でもはっきり覚えています。」と福島さんは語ります。

会場からは、「自分も登山をしますが、今日のお話は、真実の上にも真実」「本当の意味での体験談」「青春がよみがえります」などの感想が寄せられました。今後について質問されると、福島さんは「日本の山をゆっくり登りたい。山から下りてきて温泉に浸かるのが一番」とおっしゃいます。歌が好きなので、作曲家や作詞家の生家や記念碑を訪ねたりもされるそうです。

最後に金剛山などに登るときにも必ず持参するとおっしゃる、登山時に遭難を防ぐための品々を紹介してくださいました。たとえばレスキュー・シート、非常食(ビスケットなど)、ローソク、ライター、方位磁石、地図、ホイッスル、ヘッドランプ、予備電池など。これらがコンパクトにまとめられています。「使わないで持って帰るのがベストですが」とおっしゃる福島さんの言葉からは、山への愛情と畏敬の念が伝わってきました。



スイスな1日の「ドイツ語カフェ」



スイスのお話

11月9日 市民交流センター（キックス） 中会議室

今回のイベントのきっかけになった河内長野でただひとりのスイス人、ヤング・ユーエン・エムラさんに、スイスについていろいろお話をいただきました。

前半はスイスと日本の比較でした。たとえば面積は、スイスは九州くらいの大きさ、GDPは日本が世界第3位、スイスは世界第20位、しかし平均年収は日本が約400万円で世界第17位、スイスは約900万円で世界第1位！！また平均寿命では、日本はご存知のように世界第1位ですが、スイスは第2位と、どちらも長寿国です。共通点も多く、特に国民性では、仕事熱心、時間に正確、几帳面、規律正しいなど、とても似通っています。スイスの時計産業は世界的に有名ですが、精密な時計の製造には、手先の器用さと几帳面さが求められます。世界の時計メーカーの売り上げランキングで上位10社中、スイスは5社、日本は3社が入っています。かつては、優秀で値段も手ごろな日本メーカーに押されて危機的状況だったスイスの時計産業は、スウォッチグループの台頭で息を吹き返したのだそうです。

スイスの国の成り立ちは1291年（鎌倉時代後期）までさかのぼります。3つの州の代表者たちがリュトリの丘というところに集まり、当時のヨーロッパでの有力勢力ハプスブルグ家からの自治独立を維持するための永久盟約を結びました。リュトリの丘はスイス発祥の地として、商業的開発を加えることなく、今も自然のままに保存されています。1648年（江戸時代初期）には、神聖ローマ帝国からの独立を達成、1815年のウィーン会議で「永世中立国家」として認められました。1920年には国際連盟に原加盟国として加盟し、連盟本部はジュネーブにおかれました。第2次世界大戦中は、まわりをドイツ、イタリア



ヤングさん

に囲まれながらも、アンリ・ギザン將軍の指揮の元、武装中立を維持しました。

永世中立国については日本では内容についてあまり知られていませんが、戦争放棄、自衛、紛争地への武器の輸出は公平に、傭兵は派遣しない、戦争中の国に領土は提供しない、などが特徴です。バチカン市国の警備に当たるスイス兵は有名ですが、傭兵ではないのですか？と会場から質問がありました。でも、スイスはお金を取らずに兵を派遣しているので傭兵にはあたらないらしいです。自衛についても、冷戦時代に各家庭にそなえられた核シェルターなどがあり、徹底している感がありました。

スイスのトリビア

- スイスには学校給食はない。約1.5時間の昼休み中に家に帰って昼食を食べてくる。
- スイスの学校では、春休み、夏休み、秋休み、冬休みがある！
- 大学進学は少ない。9年間の義務教育を終えた時点で職業訓練校に行く人が多い（数年間）。将来さらに上の学校に行きたい場合は、それも可能。小学校6年生くらいで、将来の職業を決めるケースが多い。
- 国会のように多くの地方から人々が集まっている場合は、ドイツ語かフランス語を使う。バイリンガルな人が多い。
- 道路標識などは4つの公用語（ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語）で書かれている。
- アルバイトの時給は高く1700円くらい。しかし物価も高い。

和気あいあいの国連の部屋



特等スイスホテル
ペア宿泊券の
当選者！
最高の
笑顔です！



ヨーロッパの
木のおもちゃ



勇ましい空手ショー



スイスレストランは大繁盛！



手作りアルプホルン演奏会？



ブラッシュアップ講座

市民交流センター（キックス） 大会議室



外国人への日本語支援に関わっている人や興味のある人を対象にしたブラッシュアップ講座が3回に亘って開催されました。

第1回 10月11日（土）

「多文化共生社会の実現に向けての活動と

これからの地域日本語教室」

～国籍や文化に関係なくみんなが

安心して楽しく暮らせる社会にしたい～

講師：NPO 法人多文化共生リソースセンター東海

代表理事 土井 佳彦氏

第2回 10月18日（土）

「日本語が全くわからない人との活動」

～できること、すべきこと～

第3回 10月29日（水）

「初級文型をわかりやすく教えよう」～動詞文と助詞～

講師：財団法人海外産業人材育成協会関西研修センター

日本語講師 矢谷 久美子氏

「多文化共生」が盛んに唱えられる昨今です。しかしながら、国籍や民族などの異なる人々が、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きて行く「多文化共生」を実現するには、「ことばの壁」「制度の壁」「心の壁」があり、難しい問題点をかかえています。

KIFA では、地域日本語教室として日本語サロンの活動を行い、日本語の支援をしています。ボランティアの教える日本語教室は、日本語だけでなく、地域で生活して行くのに必要な知識や生活習慣、文化などの情報も外国の方たちに伝えて、彼らが生活して行くのに役立っています。人それぞれ必要なことは違っていますが、それらにきめ細かく対応していけるのが、ボランティアによる地域の日本語教室です。

3回の講演を通じて、技術的なことはもちろんですが、日本語ボランティアとして外国の方と関わっていくうえで一番大事な向き合う姿勢のリフレッシュとブラッシュアップをすることが出来ました。



矢谷氏

第10回語学クラブ発表会

10月26日 市民交流センター（キックス） イベントホール

日頃の外国語学習の成果を披露する「語学クラブ発表会」が、キックス4階イベントホールにて開催されました。

今年、第10回を迎えた同発表会ですが、残念ながら今回は、英語・韓国語・フランス語の3ヶ国語のみの参加となりました。

斎藤 洋雄さんの日本語と参加外国語での挨拶で発表会スタート！講師の先生方のご紹介に続いて、各言語・クラスによる発表が行われました。

1 番目は韓国語。入門・初級クラスによる歌「君は愛されるため生まれた」、韓国でヒットしたワーシップソングでとてもきれいなメロディーの曲でした。

2 番目は英語。中級クラスによるスライドショー「河内長野の歴史・行事」、美しい写真のスライドに合わせて英語で説明を行いました。続いて、初級クラスによる歌「レット・イット・ビー」、英語で話そう・英語フリートーキング両クラス合同による歌「パフ」「風に吹かれて」と、思わず口ずさんでしまう名曲の数々。

3 番目はフランス語。初級クラスによるスキット「カラスときつね」、先生もカラス役で出演されました。

中級クラスによる歌「アナと雪の女王・ありのままに」、今年の話題曲を、フランス語と日本語の両方で歌いました。

予定の発表が終了した後、韓国語中級クラスのメンバーによる飛び入り参加があり、歌「黄色いシャツを着た男」をアカペラで熱唱！

発表終了後は懇親会が行われ、普段顔を合わせる機会の少ない他言語の先生やメンバー間の交流がありました。

最後は、恒例のディズニー「小さな世界」の歌で世界めぐり、全員で韓・英・仏3ヶ国語で歌い、幕を閉じました。



写真は上から
・韓国語
・英語中級・初級
・英語フリートーキング
& 英語で話そう
・フランス語



中国の家庭料理

9月28日

市民交流センター（キックス） 食工房

講師に王 秉玉さん^{へいぎよく}を迎えて中国料理の講習会がありました。参加者は27名（内男性8名）でした。

メニューは

- ・紅焼排骨（ホンシャオパイグー）（スペアリブのコーラ煮）
- ・蔥花油餅（ツォンファヨウビン）（ネギ入中国お焼き）
- ・家常涼菜（チャージャンリャンツァイ）（生白菜のサラダ）
- ・龍須面湯（リンシーシェンタン）（トマト入り冷製スープ）の四品。

今日の料理のポイントをいくつか教えていただきました。

- スペアリブを茹でるときの水加減、水の量が多すぎると肉が硬くなる。
- サラダに入れる白菜は最初に洗い乾かしておくこと。芯のところは三枚におろし千切り。ドレッシングは食べる直前に和えること。



赤いエプロンの王先生

おおらかな王先生の人柄がレシピにもあらわれ、調味料の分量は自分の舌で味わい好みの味加減にしてくださいといった感じです。初めて参加し、とても楽しかったので次回もぜひ来たいといった方もおられました。また楽しい王先生に中国語をぜひ習いたいと男性がいろいろ質問もされていました。

出来上がった料理を試食しながら皆で感想を言い合ったり・・・楽しい時間があっという間に過ぎてしまいました。今回の講習会、男性の参加者が多いのにはビックリでした。



英国のクリスマス家庭料理

11月23日

市民交流センター（キックス） 食工房

ジリアン中筋さんを講師に迎えてクリスマス料理の講習会がありました。参加者は 27 名でした。

メニューは

- ・チキンロースト（じゃがいも にんじん ブロッコリー添え）
- ・セージとオニオンスタフイング
- ・ミンスパイ

他にチキンロースト用のブレッドソース、クランベリーソース、グレービーソースもテーブルに並びました。「イギリスでは 3 か月前からクリスマス料理の下準備にかかるのが当たり前なんですよ」の話にみんなびっくりでした。



「クリスマス当日は朝食はとらずに昼前からパーティがはじまりご馳走をいただきます。ボリュームがあるのであえてスープは作りません。パンも同様です。デザートのパディングまで食べたらお腹がいっぱいになります。そして夕方の 5 時ごろから紅茶と手作りのケーキを食べます。夜は食べませんよ。」などユーモアも交えたたのしい話に聞き入りました。テーブルの上にはディスプレイされた上品な飾り付けと美味しい料理の数々、一足早いクリスマスを十分味わうことができました。

ジリアンさんは動物愛護のボランティアもされていて、里親が見つかるまで、犬や猫のお世話をされています。美味しい料理を作っているときは自然と笑顔がこぼれて、楽しい講習会になりました。



ジリアン先生



■第10回日本語サロンオープンディ

～日本語で国際交流しませんか？～

日本語サロンの学習者がスピーチに挑戦します。スピーチの後は学習者と一緒に、日本語で交流のひと時を楽しんでいただきます。

- 日 時:3月8日(日) 14:00～16:00
- 場 所:市民交流センター(キックス) 4階 イベントホール
- 参加費:無料
- 定 員:先着50名
- 申込み:電話で事務局まで(2月5日から受付)



昨年度のオープンディ



■日本語サロン 火曜スタッフ募集

地域在住の外国人の方にボランティアで日本語学習のサポートをしてくださる方を募集します。

●応募資格：

- *河内長野市国際交流協会主催の「日本語ボランティア講座・ブラッシュアップ講座」または他機関で日本語教育に関する講座を受講した経験のある成人の方。
- *火曜日午前10時～11時45分のクラス(場所:キックス3階)に毎週参加できる方。

- 募集人員：若干名。応募者多数の場合は抽選。但し、選外となった方は待機スタッフとして登録され(1年間有効)欠員に応じて参加可。

- 応募締切日：1月26日(日) 必着

*応募の前に見学することができます。

- 応募方法：電話またはハガキで住所、氏名、電話番号と受講修了講座名又は機関を国際交流協会までお知らせください。

以前にスイス人の留学生、バレンティーナさんのホストファミリーをされた福田 耕一さんが、2014年6月にスイスで彼女と再会し、そのご家族に歓待されました。同行の友人たちとマッターホルンやモンブランなどスイス各地を旅行して巡り、バレンティーナさんのご家族のご好意により、ゲストハウスに滞在して自炊したり、楽しい経験を積まれたそうです。

「スイスな1日」のイベント当日

には、その時の写真をたくさん展示して紹介していただきました。福島さんやヤングさんの講演でスイスに興味を持った皆さんの、スイス旅行についての質問にも、快く答えていただきました。



福田さんとヤングさん

スイスを
訪ねて！

●日本語サロン スケジュール

月	曜日	日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
1月	Jan.	11・18・25	13・20・27	15・22・29
2月	Feb.	1・8・15・22	3・10・17・24	5・12・19・26
3月	Mar.	1・15・22・29	3・10・17・24	12・19・26

<開講場所と時間>

日曜日 Sundays 14:00～16:00

千代田公民館 2階

火曜日 Tuesdays 10:00～11:45

市民交流センター(KICCS)3階

木曜日 Thursdays 18:00～20:00

ノパティ南館3階 ノパティホール

●語学クラブ スケジュール

コース	英語で話そう	英語フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	スペイン語 (初級)	中国語 (中級)	中国語 (初級)
時間	14:00～15:30	14:00～15:30	19:00～20:30	19:00～20:30	19:00～20:30	19:00～20:30	19:00～20:30
開講日	1月 24	10	13・27	6・20	16・30	9・23	16・30
	2月 28	14	10・24	3・17	6・20	13・27	6・20
	3月 ※14	14	10・24	3・17	6・20	13・27	6・20

※は、10:00～

■世界情勢 ここに注目! 2014 くらまろ塾認定講座



第2回

「東アジアの危機と日本」

ー文明とバランスで考えるー

- 日 時：1月24日(土) 14:00~16:00
- 講 師：捧 堅二氏 桃山学院大学兼任講師
- プロフィール：大阪市出身。関西大学大学院修了、高野山大学特任助教授を経て、現在、桃山学院大学、関西大学、大和大学、大阪キリスト教短大非常勤講師(政治学、国際関係論など)



第3回

「激動の世界」ー2015年の展望ー

- 日 時：1月31日(土) 14:00~16:00
- 講 師：村山 高康氏 桃山学院大学名誉教授
- プロフィール：愛知大学大学院 公法学研究科 修士課程修了法学修士、1979年ロンドン大学 SOAS[※] 客員研究員



第4回

「クーデター後のタイ」ー軍事政権は危ないの?ー

- 日 時：2月7日(土) 14:00~16:00
 - 講 師：江川 暁夫氏 桃山学院大学経済学部准教授
 - プロフィール：ロンドン大学 SOAS[※] 修了。
- 国家公務員(在タイ大使館含む)として19年勤務の後2014年より現職 タイの経済政策に関する論文・論考多数

※SOAS = School of Oriental and African Studies

- 会 場：市民交流センター(キックス) 3階 大会議室
- 参加費：各回 会員 200円、一般 500円
- 定 員：各回 先着60名
- 申込み：電話かメールで事務局まで

■問い合わせ・申込み

河内長野市国際交流協会(KIFA)
事務局
〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター(キックス)3階
TEL: (0721)54-0002
FAX: (0721)54-0004
Eメール: office@kifa-web.jp

★年始休業のお知らせ
事務局は1月5日まで
お休みさせていただきます

■第15回ボランティア・市民活動フェスティバル



ボランティア・市民活動フェスティバル(通称ボラフェス)では、市内でさまざまな活動をしている様々な団体やグループが集まり、日ごろの

活動の成果を展示し紹介します。

ボラフェス会場内の KIFA ブースにおいて、ネパール等支援を必要とする国に送付する文房具を集めます。使用可能であれば、新品でなくてもかまいません。ご協力よろしくお願いいたします。

- 日 時：2月22日(日) 10:00~16:00
- 場 所：市民交流センター(キックス) 全館



■「早稲田大学留学生と あ・そ・ぼ・う!」

楽しいゲームなどで、プレゼントもゲットできるよ!

早稲田大学の留学生たちが河内長野市にやってきます。出身の国について教えてもらったり、言葉を習ったり、一緒にゲームをして遊びましょう!

- 日 時：3月14日(土) 14:00~16:00
- 場 所：市民交流センター(キックス) 4階 イベントホール
- 対 象：小中学生
- 定 員：先着100名
- 参加費：無料
- 申込み：電話またはメールで事務局まで(2月5日から受付)

■ホストファミリー募集

地方体験のため河内長野市にやってくる早稲田大学留学生のホストファミリーになりませんか?

- 期 間：3月13日(金)~16日(月)
 - 受入留学生数：5名(予定)
- (申込み多数の場合は抽選)

※上記の14日に行われる交流プログラム以外はホストファミリーと過ごしていただくフリープログラムになります。

詳しくはお問合せください。

- 申込み・お問合せ：電話で事務局まで(締切1月31日)

コース		中国語	韓国語	韓国語	韓国語	フランス語	フランス語
		(入門)	(中級)	(初級)	(入門)	(中級)	(初級)
時間		14:00~15:30	19:00~20:30	10:00~11:30	19:00~20:30	10:30~12:00	10:30~12:00
開講日	1月	7・21	8・22	17・31	15・29	10・24	17・31
	2月	4・18	12・26	7・調整中	5・19	7・14	※7・28
	3月	4・18	12・26	7・21	5・19	7・21	14・28

※は、13:00~



行って、見て、食べてください!

ユディカ・エルギヤント(インドネシア)

Apa Kabar! (こんにちは) ユディカ・エルギヤントです。インドネシアから来ました。2013年の6月から日本に家族で住んでいます。日本に来るのは初めてではなく、5年前に1年間くらい研修でいました。蚊取り線香型の蛍光灯を学びました。現在、LED照明器具を開発しています。会社では皆が私によくしてくれます。

毎週日曜日に日本語サロンに通っています。私の国ではインドネシア語が共通語ですが、地方によってたくさんの言語があります。ジャワ島だけでもジャワ語、マドゥラ語、スンダ語などあります。同じ地方の人同士だけが使い、他の地方の人とは通じません。ですから両方を覚えなければなりません。

インドネシアというと多くの人はバリ島しか思いますがないかと思いますが、本当はいっぱいあります。例えばバリの北にあるロンボク島、東ジャワにあるブロモ山、中ジャワにあるジョグジャカルタ市、スマトラ島のトバ湖などがお勧めです。

食べ物もいろいろ美味しい物があります。フルーツ

ではグワバ、マンゴー、パイナップル、スターフルーツなどです。料理ではガドガド、バツソ、チョトマカッサルと言う料理が好きです。ガドガドはゆで野菜とゆで卵にオリジナルピーナッツソースをかけて食べます。バツソは肉団子のスープ、チョトマカッサルは牛肉と内臓を煮込んだスープです。ロントンというバナナの葉で包んだちまきのようなご飯と共に頂きます。とてもおいしいですよ、一度食べてみて下さい。値段は日本円で100円ぐらいです。

皆さん、これからバリ島だけじゃなくきれいな所、美味しい食べ物がいっぱいありますから、ぜひ行って見て下さいね。きっと楽しい思い出ができますよ。



カメル・河内長野 姉妹都市 子ども絵画展



姉妹都市アメリカインディアナ州のカメル市と河内長野市は、毎年子供たちの作品を交換して、文化交流を進めてきています。

今回、河内長野市からは2014年2月のキッズアート展の出展作品から選んでカメル市に送りました。作品は、カメル市にあるギネスブック公認の「世界で一番小さい子ども美術館」や「カメル国際アートフェスティバル」などで展示されました。

カメルからの作品は、キックス、ラブリーホール、市役所、「あいつく」などで展示され、たくさんの市民の皆さんに見ていただきました。また今回は、文房具の支援でつながりのある、ネパール

の子供たちの絵も一緒に展示しました。作品からは、各国の共通点も違っている点も伝わってきて、興味深いものになりました。

次回はどのような作品に出会えるのか楽しみです。

写真はいずれも、「あいつく」で展示の様子。

右の写真の中の手前のおもちゃの家は、カメルの「世界で一番小さい子ども美術館」を模したものだ。



広報活動事業部では、KIFA リポートの発行と並行して、メールマガジンも発行しています。メールマガジンは、あの東日本大震災のあった2011年3月に創刊号を発行し、読者も100人を越えました。たかがメールと簡単に考えて開始しましたが、画像を入れたいとか、いろいろな要望も出てきて手さぐり状態で始めました。日々進歩するコンピューター技術に追いつけず、四苦八苦することもありましたが、何とか5年目を迎えられそうです。

ちょっと残念なのは、読者が殆ど日本人だということです。もっと外国人の読者が増えて、「メルマガのこの日本語おかしいよ」なんて指摘されるようになれば、うれしいなと思っています。

issie

無料
メールマガジン
配信中!

KIFAの楽しいイベントや情報を、いち早くお知らせします。お申し込みは、事務局または、KIFAホームページから。

<http://www.kifa-web.jp/>